oshima

保存用

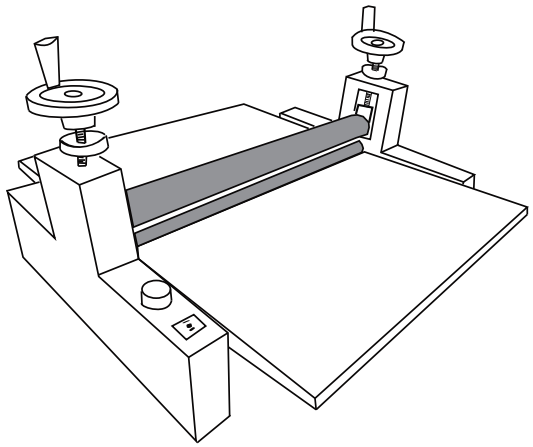
電動ローラーカッター

GR-440

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、大島工業電動ローラーカッターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお, この説明書は大切に保管してください。



目次

安全に正しくお使いいただくために　・・・　2

各部名称とはたらき　・・・・・・・・・・・　5

組み立て　・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

操作手順　・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

修理・点検などについて　・・・・・・・・・　11

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

安全にお使いいただくために
ここに表示された注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害･財産への損失を未然に防ぐものですから、必ずよく読みお守りください。

⚠警告	この注意事項を守らなければ、死亡又は重傷などを負う可能性がある内容。
⚠注意	この注意事項を守らなければ、傷害を負うか又は物的損害が生じる可能性がある内容。

⚠警告

作業は必ず一人で行なってください。

ローラーの間には絶対に手を入れず、刃型の刃先にはふれないでください。

故障したままの使用はしない

煙がでている、変な匂い、異音がするなど異常状態のまま使用をすると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
煙が出なくなるのを確認し、専門のサービス担当者に連絡を取って下さい。

絶対にカバーは外さない、改造しない

本機のカバーは絶対に外さないで下さい。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・補修は専門のサービス担当にご相談下さい。

巻き込まれ・はさみこみに注意

本機のローラーなどに指や手、衣服等が挟み込んだり、ふれないように注意してください。けがの原因となります。

⚠注意

100V以外の電圧を使用しない

本機に表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧には絶対に接続しないで下さい。火災・感電の原因となります。

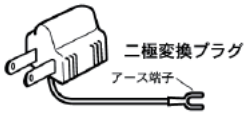
転倒に注意

設置面が安定しない場合では本機が倒れてけがの原因となります。必ずぐらつきのない設置面で、安定した場所に設置して下さい。

水や異物を入れない

本機にそぐわない物は挿入・カットしないで下さい。けがや故障の原因となります。また、本機の内部に水などが入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、専門のサービス担当に連絡して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源コードのアース端子は確実に接地処理した上で、製品を使用する



接地処理を行っていない製品の処理に付いては、保証期間でも有償修理となる場合もございますので、ご理解の程をお願い申し上げます。

損害について

弊社の保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生じた付随的いかなる損害（逸失利益、営業損害、間接被害、特別損害または、その他金銭的被害、求償金）に関して一切の責任を負わないものとします。また、弊社に損害の可能性について知らされていた場合も同様とします、

⚠注意

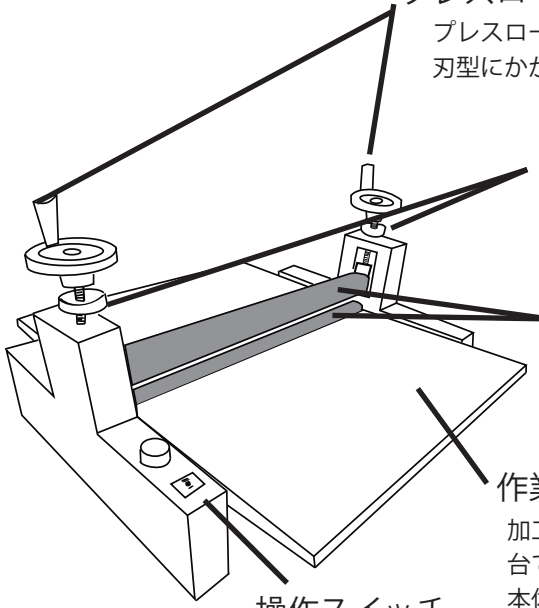
電気コード、電源プラグの注意

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電の原因となることがあります。
・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
・移動させる場合は電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードを持っていって下さい。コードが傷つき、火災・感電・転倒の原因となることがあります。
・電源プラグやコードが傷んだら専門のサービス担当者に交換をご依頼下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となる場合があります。

修理・点検について

・本機の修理は自分で行わないで下さい。次のような場合には電源プラグを抜き、専門のサービス担当者にご連絡下さい。
  ・電源コードや電源プラグが破損した。
  ・本機の内部に液体が入った。
  ・間違った操作をした後、本機がうまく動作しなくなった。
  ・本取扱説明書通りに本機が動作しない。
  ・その他、異音・異臭、動作不全など異常を感じた場合。

各部の名称と働き



プレスローラー圧力調整ハンドル
プレスローラーを上下に動かし、材料や刃型にかかる圧力を調整します。

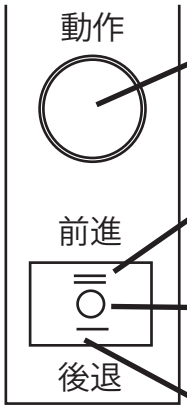
固定ハンドル
締める事でプレスローラーの上下を固定できます。

プレスローラー
回転することにより、刃型・加工材を送り出すローラーです

作業台
加工作業時に刃型等を支える台です。
本体から着脱することができます。

操作スイッチ
下欄に詳細説明を記載

操作スイッチ



動作スイッチ
前進スイッチをオンにした状態で動作スイッチを押している間のみ、プレスローラーが前進方向へ回転します。

前進スイッチ
前進スイッチをオンにすると動作スイッチが点灯します。

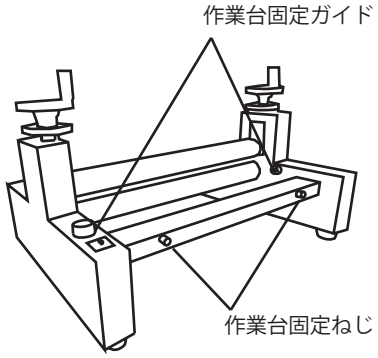
電源オフスイッチ
スイッチをフラットな状態にすると、電源がオフになります。

後退スイッチ
後退スイッチを押している間のみ、プレスローラーが後退（逆）方向に回転します。

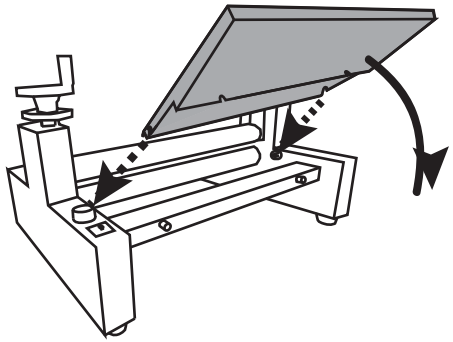
組み立て

作業する前に必ず作業台を取り付けてください。
取付作業はコンセントを抜いて作業をして下さい。

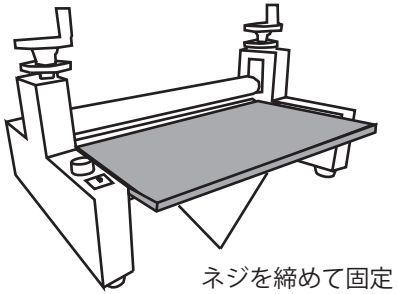
①本機を作業する場所に設置してください。作業台固定ねじを 1〜2 mm ほど隙間ができ　る程度緩めてください。



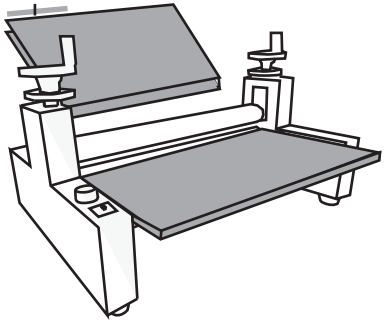
②作業台を下図のように作業固定ガイドにはめ込んでください。はまったら下ろして、作業固定ねじにもはめてください。



③作業固定ねじを締めて、本機と作業台を　しっかりと固定してください。



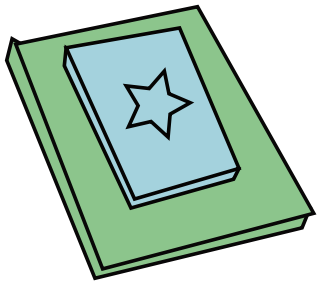
④反対側にも作業台を取り付けて下さい。
手順①〜③と同じです。



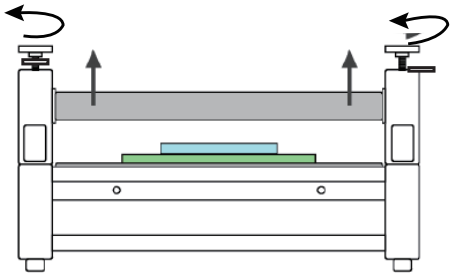
操作手順

カットする際は操作手順を参照に各設定をし、必ずカットテストを行い、圧着状況を確認したうえで実際のカッティング作業を行って下さい。

①カッターマットの上に刃型をおきます。

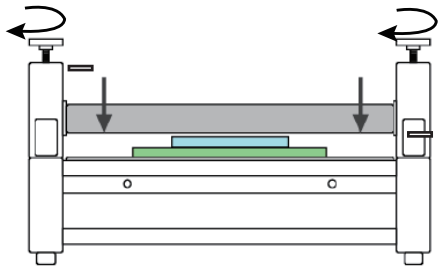


②左右の固定ハンドルを「アンロック」方向に回し、プレスローラー調整ハンドルを「UP」方向へ回してプレスローラーを上げ、①の刃型とカッターマットをプレスローラーの下に入れます。

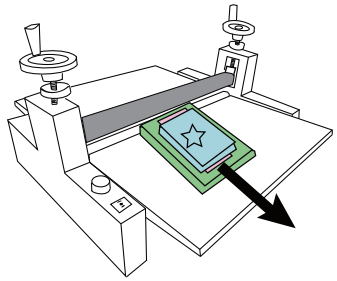


③左右のプレスローラー調節ハンドルを「DOWN」方向へ回します。
プレスローラーが刃材にあたり、ハンドルが軽く止まるまでプレスローラーを下げて下さい。

※必ずローラーが水平になるように調整して下さい。



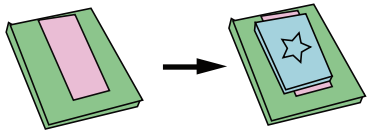
④後退スイッチを押して刃型とカッターマットを取り出します。
取り出したら左右のプレスローラー調整ハンドルを「DOWN」方向へ約 1/4〜1/2 回転回してください。固定ハンドルをロック方向へ回しプレスローラーが下がらないように固定します。



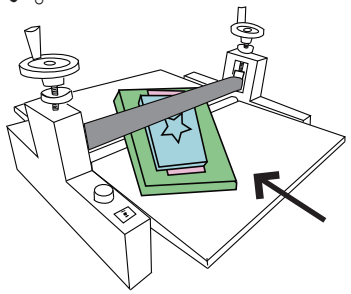
次ページに続く

⑤カッターマットの上にカットしたい材料を置き、その上に刃型を置きます。この時、材料のカット位置と刃の位置をあわせて下さい。

※真上から見てカット位置がずれていないか確認して下さい。



⑥前進スイッチに切り替えた状態で、動作ボタンを押し続け、下図のようにローラーに送り込みます。
全面に渡って均一に型抜きがされているか、仕上がり具合を確認してください。
※確認できたら⑤～⑥を繰り返して型抜き作業を行って下さい。



※刃型を通す際に、斜めに傾けて通すと切れやすくなります。

修理・点検などについて

・ご使用中、本体に異常が生じた場合は、もう一度この取扱説明書をよくお読みいただき、それでも故障と思われる場合は、弊社までご連絡ください。

・修理、点検、その他ご不明な点については、下記の弊社連絡先までご連絡ください。

大島工業株式会社

〒448−0045　愛知県刈谷市新富町3丁目32番地
TEL:0566−21−3260　FAX:0566−23−3710
URL:http://www.bi-k.com/